

「センター利用者研修会」

11月25日(木)開催

毎年行われるセンター利用者への研修会、今年度は支援団体5団体の活動報告から、当センター利用団体28団体(43人)が参加し、男女共同参画について学習しました。参加された利用者から「素晴らしいわね!」という声も聞かれ有意義な研修会となりました。

「マイカー技能セミナー」

～日常点検&困った時の対処法～

11月7日(日)開催

講師：千葉県自動車整備振興会

山崎 一さん・結城慶一さん・久土地 剛さん



▲実際にタイヤをはずして、タイヤの重みを感じました

車の構造や基礎知識の講義と日常点検・タイヤ交換の実習から、いざという時に年齢・性別に関りなく、一人ひとりの能力を生かすための学習を行った。

実際にタイヤの交換や点検を丁寧に指導していただき、日ごろの疑問点も解決!

「ほっ」とコーヒーで

こころと身体の元気UPを!

2月8日(火)・3月1日(火)開催

講師：黒沢崇さん・麻利子さん (caféいらくらう)

コーヒーの健康効果にスポットをあて、こころと身体の健康を考えました。

お湯の温度や注ぎ方などプロの技に驚き、挽きたてのコーヒーの香りに心身ともに癒されました。



▲中心から円を描くように、注ぎ方で味が変わるんだよね!

平成23年度講座予定

「男女共同参画週間事業」

6月25日(土)実施

今回の東日本大震災を踏まえ防災のお話を地域との係わり方など専門家からお話を聞きます。

「女性チャレンジ支援セミナー」

11月頃を予定

再就職したいと思っている女性を対象に最新の情報とパソコンを学習します。

「健康づくり講座」

9月・11月頃を予定

生涯にわたる健康を食や運動を通じて考えます。

※他にも色々、1年を通じて講座を行ないます。詳細については、ちらし・広報・ホームページをご覧ください。

☎ 女性、こころの悩み電話相談 ☎

《専用電話》047-485-7333
毎週火・木・金曜日 午前9時～午後4時
(祝日、年末年始[12月27日～1月4日]を除く)
専門の女性相談員が、おうかがいします

☎ 男性のための電話相談 ☎

(ちば県民共生センター お問合せ：043-252-8036)
《専用電話》043-285-0231
毎週火・水曜日 午後4～8時
専門の男性相談員が、おうかがいします

異動のお知らせ

男女共同参画センター所長 浅野幸子 国民年金室へ
男女共同参画課 村田章悟

男女共同参画だより

No.12 平成23年 春号

八千代市男女共同参画課 ☎047-485-7088

男女共同参画センター ☎047-485-6505

住所：八千代市八千代台南 1-11-6 (八千代台東南公共センター4階)

ホームページ：http://www.city.yachiyo.chiba.jp/siyakusyo/danjo/

「わたしたちが目指す
男女共同参画社会」

一人ひとりが生きがいのある社会を形成するために、男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任を分かちあい、家庭、職場、地域などで十分に能力や個性を発揮できる社会の実現を目指しています。

男女共同参画センター あんなこと こんなこと やりました

テレビやラジオで大人気のイ・ユニ先生登場! 「韓国のご家庭生活の変化」

講師：李允希教授(東京成徳大学) 2月20日(日)開催

外国語としての韓国語教育や音声教育を研究し、東京成徳大学で教鞭を取り、長年テレビやラジオのハングル講座で講師など、多方面で御活躍中のイ・ユニ教授をむかえ、「ホットな情報 韓国のご家庭生活の変化 ～韓国を身近に感じてみませんか～」と題して、講演会を行いました。

先日、アメリカのオバマ大統領が一般教書演説の中で「韓国から学ぶべきことがある」と言ったのは、なぜでしょうか。日本や韓国の現状は、国際的にどのような立場にあるのかわかりやすくお話をいただきました。



▲ 帰国直後のイ・ユニ先生のお話は「韓国のホットな情報」参加者のみなさんは引き込まれて、時間もあっという間でした。

■ みんなで育てよう 男女共同参画センター 認めあい、支えあい、いきいきと暮らすために 男女共同参画課 ■

今日は「韓国の家庭生活の変化」というテーマでお話いたします。

私の本来の専門は語学ですので、文化の話をするのは得意ではありません。しかし、この講演が終わったころには、韓国を身近に感じて両国の共存のために何が必要かを考えてほしいと思います。

躍進する韓国

25年前、韓国は裕福ではなかったのですが、私が日本に来たときは裕福さに驚きました。

しかし今では、アメリカのオバマ大統領やマイクロソフト社のビル・ゲイツ氏が韓国の躍進に注目し、学ぶ点があると述べています。IT技術の向上や、世界の国々とのFTA協定（自由貿易協定）の締結による輸出入量の増加への期待、国家競争力の向上など、韓国の飛躍的な成長が国際社会で評価されているからです。実際、国家競争力は日本の27位に対し、韓国が23位で上位となっています(2010年)。では現在、日本や韓国は国際的にどのような立場にあるのかデータ(KOSISの統計)で見たいと思います。

データで見る日本と韓国

物価と労働賃金を比べると、日本の物価は韓国を100とした場合、日本は1.84になりますが(2009年度)、製造業の労働賃金は韓国2,500ドル、日本2,839ドルで大きな差はありません(2008年)。これらを単純に比較することは出来ないかも知れませんが、生活する上で韓国の方が豊かに暮らせる可能性があります。日本は電気代・水道代などの固定した費用が高いですね。特に家賃の高さは世界のトップレベルです。



それから、韓国より日本の方が男女の製造業の賃金格差が大きくなっています(2008年)。そのひとつの要因として、日本は税制上の問題や子育ての環境から、責任ある地位に就きたがらず、働き

やすい仕事に就きたい女性が多いという傾向が考えられます(私個人の感想ではありますが・・・)。

また高等教育就学率(大学進学率など)は、韓国が98%なのに対し、日本は58%で低い状況になっています(2008年)。教育費が高いのも影響して出生率が世界一低い韓国ですが、大学や大学院への進学率は非常に高くなっています。大学卒業後に海外留学をさせてこそ親の責任が果たせると思う人も多く、就職の際には海外での語学研修の時間数が求められる場合が多いのが原因と思われる。私としては、国の発展のベースとなるのは「教育」であると考えますので、今の韓国の発展は国民の勉学への努力の成果と思えます。

韓国で変化しないもの、変化したもの

昔から韓国で大事にされているのは、医食同源の考えで、野菜をたくさん食べるということです。昔から社会的身分により3、5、7、9種類のおかずを食卓に上げ、王は12のおかずを並べていました(キムチ類は数に含まれない)。その多くが野菜で、どんな場合でも人の健康のためにはおかず3個は必要とされていたわけです。ちなみに、「12」は王を示す数字で縁起が良いとされていました。日本でも十二単や十二支などがありますね。また、韓方(漢方)好きな点も変わっていません。日本でも最近では病院で漢方薬を処方することがありますが、韓国では独自の韓医学が発達していて、医師は厳しい韓医学の国家試験を経て医師免許を持つ人が診察可能です。最近では、アメリカの病院でも医師に韓医学の授業を受けさせて単位を取ることを推奨しているというニュースもありました。

変化したものは、さまざまな分野のIT化です。まず私が一番関心を持っている教育のIT化です。EBSのTV放送は24時間インターネット受講が可能で、この放送から大学の「修能(センター)試験」の問題も積極的に出しています。韓国は大学の受験戦争が非常に激しいため、親の塾への経済的負担を軽減するために、高校で必要な科目はすべて製作し、一般放送やインターネット放送で視聴を可能にしているのです。番組を見てインターネットで試験を受け、各自が自分の学習の成果を計ることが出来るようになってきました。そして、韓国全国の図書館の中

では、PCで論文や書籍の閲覧が可能になっているので、とても便利です。文書をコピーすることは出来ませんが、プリントアウトしたい場合は著作権料を支払うと自宅に郵送してくれます。

また、最近オフィスには個人のデスクを設けない中小企業が増えているようです。出勤の際にノートパソコンが支給され、空いている場所ならどこでも仕事できるようになっているからだそうです。

家電もIT化が進んでいます。韓国では洗濯の際に煮沸することが伝統的に行われてきましたが、これを援用したIT洗濯機が使われています。煮ることで洗剤の量を減らすこともできるのですが、現在の洗濯方法がヨーロッパで人気を博し、韓国の洗濯機がたいへん売れているのです。

その他にも、3Dで生中継を見ることのできるテレビ、自動車メーカーや航空会社の安全性やクオリティーへの拘り、スマートフォンなど韓国のIT化が反映された製品などに世界が注目しています。

競争がなければ発展はありません。今までは日本国内だけの消費でも豊かになりましたが、これからは世界に目を向け、競争力を高めていく必要があります。私は日本の元気を取り戻すためには「教育」の見直しをもっと重要と考えています。韓国には毎年アメリカやヨーロッパからたくさんの留学生が来ています。留学の理由はオバマ大統領のことは答えを見付けることができると言っても過言ではないと思いますが、日本人留学生は非常に少ない!!

アメリカやヨーロッパばかりを追うのは時代遅れです。日本の元気を取り戻すためには、アジアの国々との競争に勝つことです。そのためには、まず競争相手を知ることがもっとも重要です。その競争相手のひとつである韓国を知る人材が少なくいつまでも韓国を下に見たい人がいるのが、今の日本の弱点です。韓国を専門的に研究する授業や韓国への留学生を増やす事が必要ではないでしょうか。

(講演会の内容を
抜粋しました)



イ・ユニ教授
(東京成徳大学)

「身近な男女共同参画

～みんなで体験落花生の不思議～」

10月17日(日)開催

講師：佐藤さん・中村さん(地域農産物加工マイスター)
荒井さん(大和田図書館)



▲抜いてびっくり、たくさんの落花生!

親子・祖父母と一緒に農作業を体験し、収穫した落花生を調理すると同時に、協力して子育てをし、お互いを認め合う事の大切さを子どもと一緒に絵本を通じて学習する。

「女性チャレンジ支援セミナー」

10月28(木)～30日(土)開催

講師：児島晶代さん(ハローワーク上席指導官)
清水知子さん(キャリアコンサルタント)
小谷野敏行さん(パソコンインストラクター)



▲実践に即した話はとてもためになりました

再就職をめざす女性を対象に、再就職に役立つ情報を提供する講義と、仕事ですぐ使えるパソコン実習を行いました。